

令和4年度
総会資料

とき 令和4年8月28日(日)

14:00~15:00

ところ 岡山プラザホテル

花葉の間 3F

岡山市中区浜2-3-12

TEL 086-272-1201

東京農業大学校友会岡山県支部

総 会 次 第

1. 開 会 14 : 00

2. 支部長挨拶

3. 来賓挨拶

4. 議 題
 - (1) 令和3年度事業報告について p 2
 - (2) 令和3年度歳入・歳出決算について p 3
 - (3) 監査報告書 p 4
 - (4) 令和4年度事業計画（案）について p 5
 - (5) 令和4年度歳入・歳出予算（案）について p 5
 - (6) その他について p 6

5. 東京農業大学校友会功労者表彰について p 7

6. 記念写真撮影（集合写真）

ご来賓

東京農業大学校友会常務理事

小桧山 善継 氏 （昭和44年 農業経済卒）

議 題(1)

令和3年度事業報告について

日 時	会 議	場 所	出 席 者
中止	中国四国ブロック親睦ゴルフコンペ前夜祭		
中止	中国四国ブロック親睦ゴルフコンペ岡山大会		
中止	校友会総会	農大世田谷キャンパス	
中止	岡山県支部総会		
中止	中国四国ブロック会議		
中止	支部役員会		
中止	各分会・部会(備前・備中・美作・教職員・女性部会)		
中止	全国支部長会議	農大世田谷キャンパス	

※令和3年度事業は新型コロナウイルスの影響により全て中止になりました

議題(2)

令和3年度歳入・歳出決算について

(歳入の部)

単位:円

費目	予算額	決算額	備考
繰越金	711,856	711,856	前年度繰越金
年会費	360,000	231,000	@3,000円×77人
総会費	260,000	0	
交付金	170,000	110,000	支部交付金、総会助成金等 就職対策費助成金
雑収入	144	1	預金利息等
合計	1,502,000	1,052,857	

(歳出の部)

単位:円

費目	予算額	決算額	備考
事務費	210,000	99,479	会費振込手数料、ハガキ・封筒代 資料印刷代、案内等郵送料
総会費	400,000	0	
分会等助成金	200,000	0	
役員会費	200,000	0	
交通費	20,000	1,400	事務打合せ
慶弔費	30,000	11,000	葬儀お供え
雑費	40,000	30,000	会費返金(2重振込のため)
予備費	402,000	0	
合計	1,502,000	141,879	

歳入総額	1,052,857
歳出総額	141,879
差引残高	910,978 (次年度繰越金)

上記のとおり決算致します。

令和4年3月31日

東京農業大学校友会岡山県支部

支部長 渡辺 英気

議題(3)

監 査 報 告 書

令和3年度東京農業大学校友会岡山県支部歳入歳出決算について、
監査の結果、正当であることを認めます。

令和4年7月11日

東京農業大学校友会岡山県支部
支部長 渡辺英気様

監 事 祇園 公 子
 山 部 慎 一
 横 林 秀 樹

議 題 (4)

令和4年度事業計画(案)について

日 時	会 議	場 所	出席者 参加者
4. 7. 1(金)	校友会総会	農大世田谷キャンパス	欠
未 定	教育後援会地方懇談会		
4. 8. 28(日)	岡山県支部総会	岡山プラザホテル	
未 定	中国四国ブロック親睦ゴルフコンペ岡山大会		
未 定	中国四国ブロック会議		
随 時	支部役員会		
随 時	各分会・部会(備前・備中・美作・教職員・女性部会)		
未 定	全国支部長会議		

議 題 (5)

令和4年度歳入・歳出予算(案)について

(歳入の部)

単位:円

費 目	今年度予算額	前年度予算額	備 考
繰 越 金	910,978	711,856	前年度繰越金
年 会 費	360,000	360,000	@3,000円×120人
総 会 費	260,000	260,000	@7,000円×35人、@3,000円×5人
交 付 金	170,000	170,000	支部交付金、総会助成金等 女子部会助成金 その他
雑 収 入	22	144	預金利息等
合 計	1,701,000	1,502,000	

(歳出の部)

単位:円

費 目	今年度予算額	前年度予算額	備 考
事 務 費	210,000	210,000	会費振込手数料、ハガキ・封筒代 資料印刷代、案内等郵送料
総 会 費	400,000	400,000	会場費 等
分会等助成金	200,000	200,000	@40千円×3分会(備前・備中・美作) 教職員部会40千円、女子部会40千円
役 員 会 費	200,000	200,000	役員会会場費、中国四国ブロック会議 等
交 通 費	20,000	20,000	中国四国ブロック会議 等
慶 弔 費	30,000	30,000	
雑 費	40,000	40,000	
予 備 費	601,000	402,000	
合 計	1,701,000	1,502,000	

* 本予算は、各費目を通じて流用することができるものとする。

議 題 (6)

その他について

5. 東京農業大学校友会功労者表彰について

赤澤 猛氏 (昭44農)

岡山県支部幹事長 平成21年度～22年度

岡山県支部長 平成25年度～令和2年度

通算10年

永原 豊氏 (昭60拓殖)

岡山県支部幹事長 平成23年度～令和2年度

通算10年

東京農業大学校友会岡山県支部会則

(名 称)

第1条 本会は「東京農業大学校友会岡山県支部」という。

(目 的)

第2条 本会は支部会員の連絡を密にし、会員相互の親睦をはかると共に母校の発展に寄与することを目的とする。

(事 務 所)

第3条 本会の事務所は岡山市北区大元駅前9-15-607グリーンピア大元駅前607におく。

(事 業)

第4条 本会は第2条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 会員の集会および会議に関する事。
- (2) 支部会員の名簿および情報の収集に関する事。
- (3) 本部及び他県支部並びに在校生との連絡調整に関する事。
- (4) その他必要な事項に関する事。

(会 員)

第5条 本会は校友会会員のうち、岡山県内に居住するものをもって構成する。

(役 員)

第6条 本会の円滑な運営をはかるため、次の役員をおく。

- (1) 支部長 1名
- (2) 副支部長 3名
- (3) 幹事長 1名
- (4) 会計幹事 1名
- (5) 幹事 若干名
- (6) 監事 3名

(役員の選出)

第7条 本会の役員は総会において選出し、支部長、副支部長は役員の内選による。幹事長、会計幹事、監事は支部長が指名する。

(役員の仕事)

第8条 支部長は本会を代表し、会務を総括する。

2. 副支部長は支部長を補佐し、支部長に事故あるときはその職務を代理する。
3. 幹事長は、幹事を代表し、校友会本部並びに会員との連絡調整に当る。
4. 会計幹事は、会計事務を担当する。
5. 監事は事業ならびに会計を監査する。
6. 幹事は支部長の命を受け、重要事項を審議すると共にあらゆる会務を掌理する。

(役員の仕事)

第9条 役員の仕事は2年とする。但し、再選を妨げない。

2. 補欠の役員の仕事は、前任者の残任期間とする。
3. 役員は仕事満了しても、後任者が就任するまでは引き続きその職務をおこなうものとする。

(会 議)

第10条 総会は年1回開催する。但し、支部長が必要と認めた時は臨時に開催することができる。

(総 会)

第11条 総会は次の事項を議決する。

- (1) 事業計画並びに事業報告に関する事。
- (2) 会則の変更および役員の仕事改選に関する事。
- (3) 会費の徴収および決算に関する事。
- (4) その他、特に必要と認める事項。

(地区別会議)

第12条 本会は下記の分・部会をおく。

備前地区分会 備中地区分会 美作地区分会 教職員部会 女性部会

2. 各地区分・部会に役員をおくことができる。
3. 各地区分会長は、各地区選出の副支部長が兼務するものとする。
4. 部会長は、部会員の互選とする。

(顧問)

第13条 本会に顧問をおくことができる。

顧問は総会において推挙する。

(相談役)

第14条 本会に相談役をおく。

相談役は前支部長が就任する。

(会計)

第15条 本会の経費は、会費・寄付金 その他でまかなう。

(会費)

第16条 会費の額は、年3,000円とする。

(年度)

第17条 本会の年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

附 則

- 1.この会則は、昭和51年10月16日より施行する。
- 2.この会則は、昭和59年8月3日より施行する。
- 3.この会則は、昭和60年7月27日より施行する。
- 4.この会則は、平成3年7月20日より施行する。
- 5.この会則は、平成4年8月1日より施行する。
- 6.この会則は、平成7年8月19日より施行する。
- 7.この会則は、平成11年7月17日より施行する。
- 8.この会則は、平成19年8月25日より施行する。
- 9.この会則は、平成21年4月1日より施行する。
- 10.この会則は、平成23年7月16日より施行する。
- 11.この会則は、平成25年7月14日より施行する。
- 12.この会則は、令和3年8月9日より施行する。

校友会岡山県支部慶弔に関する内規

会員相互の慶弔は下記による

- ①会員の結婚した場合 祝電
- ②会員の死亡した場合 弔電

(ただし必要によっては支部三役協議して不祝儀等決めることができる)

- ③会員の国、県またはこれと同等の団体からの表彰を受けた場合 祝電
- ④その他必要事項については支部三役協議して決定することができる
- ⑤会員は上記に該当する者が判明した場合は、支部長又は幹事長に連絡すること
平成6年8月20日から施行する